

いしずえ
第 8 回電気技術顕彰「でんきの礎」として 5 件を顕彰
～3 月 25 日に授与式を挙行～

「でんきの礎*1」(One Step on Electro-Technology)は「社会生活に大きく貢献した電気技術」の功績を称え、その価値を多くの人に知ってもらい、電気技術への関心を持ってもらうことを目的に、技術史的価値、社会的価値、あるいは学術的・教育的価値のいずれかを有する約 25 年以上経過した電気技術の業績を顕彰するものであり、平成 20 年の創立 120 周年記念事業の一環として制度化しました。

(*1: カテゴリーとして『モノ』『場所』『こと』『人』の 4 つを設定)

一般社団法人 電気学会
会長 生駒 昌夫

でんきの礎
— 振り返れば未来が見える —
One Step on Electro-Technology
- Look Back to the Future -

第 1 回では「秋葉原 (秋葉原駅周辺の電気街)」などの 10 件 (16 顕彰先)、第 2 回では「電気釜」などの 5 件 (8 顕彰先)、第 3 回では「ウォークマン」などの 4 件 (6 顕彰先)、第 4 回では「高柳健次郎と全電子式テレビジョン」などの 6 件 (7 顕彰先)、第 5 回では「PC-9800 シリーズ」などの 5 件 (5 顕彰先)、第 6 回では「NC 装置 (数値制御装置)」などの 11 件 (13 顕彰先)、第 7 回では「魚群探知機」などの 6 件 (7 顕彰先) を顕彰し、第 8 回にあたる今年 (平成 27 年) は次の 5 件 (5 顕彰先) を「でんきの礎」として決定いたしました。

(顕彰名称 50 音順)

顕 彰 名 称	顕 彰 先
初代電信頭石丸安世と磁器碍子	株式会社香蘭社
地図型自動車用ナビゲーションシステム	本田技研工業株式会社
直接衛星放送サービス	日本放送協会 放送技術研究所
光干渉計式ガス検知器	理研計器株式会社
帆足竹治の発見した回路網結合の法則「帆足-Millman の定理」	早稲田大学

つきましては、平成 27 年電気学会全国大会の特別講演にあわせて下記のとおり授与式を行いますので、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい (詳細は添付資料参照)。なお、当日の取材を希望される報道機関におかれましては、平成 27 年 3 月 23 日 (月) 午後 3 時まで下記問合せ先までご連絡願います。

平成 27 年電気学会全国大会 特別講演・授与式 ※一般無料開放
日時：平成 27 年 3 月 25 日 (水) 午後 2 時から 5 時 45 分
会場：東京都市大学 世田谷キャンパス (東京都世田谷区玉堤 1-28-1)
次第 (案)：午後 2 時 00 分～4 時 50 分 海外招聘学会会長による講演および特別講演 2 件
午後 4 時 50 分～5 時 45 分 <u>第 8 回電気技術の顕彰制度「でんきの礎」等 授与式</u>

引き続き当学会の重要事業のひとつとして「でんきの礎」を顕彰してまいりますので、今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます (第 9 回につきましては現在候補の推薦を公募中 [2 月末日締切] です)。

記念品として顕彰先に差し上げている

クリスタルトロフィー (右)
青銅プレート (下)



<添付資料>

別紙 1：第 8 回電気技術顕彰「でんきの礎」詳細

別紙 2：平成 27 年電気学会全国大会 特別講演・授与式のご案内

<本件に関するお問合せ先>

一般社団法人 電気学会 総務課 顕彰担当

E-mail : jimkyoku@iee.or.jp

Tel : 03-3221-7312

第8回電気技術顕彰「でんきの礎」詳細

一般社団法人 電気学会

平成27年2月



石丸安世(左)と香蘭社に残る明治期の磁器碍子(右)

しよだいでんしんのかみいしまるやすよ じきがいし
初代電信頭石丸安世と磁器碍子

[カテゴリー] モノ/こと/人

[顕彰先] 株式会社香蘭社

[顕彰理由] 1871年に初代電信頭となった石丸安世は、電信線敷設事業の指揮を取り、有田焼技術を用いて磁器による碍子の国産化を発案し、第八代深川栄左衛門(のちの香蘭社創業者)にその製作を依頼、深川栄左衛門は外国製碍子の性能をはるかにしのぐ磁器碍子を完成させた。この技術は日本のインフラを支える重要な基となり、のちの工業用ファインセラミックス誕生のきっかけとなった。また、石丸安世は私塾を開塾し、のちの電気学会草創期の中心メンバーとなった志田林三郎、中野宗宏・初子兄弟、石井理一など多くの電気工学者を輩出した。

(写真提供: 佐賀県立佐賀城本丸歴史館, 株式会社香蘭社)



エレクトロ・ジャイロケータ表示部

ちずがたじどうしやよう
地図型自動車用ナビゲーションシステム

[カテゴリー] モノ/こと

[顕彰先] 本田技研工業株式会社

[顕彰理由] 本システムは、デジタル地図やGPSがない時代に、地図上に自分の車の現在位置を表示しナビゲーションを行うことを、世界で初めてホンダ・エレクトロ・ジャイロケータとして商品化したものであり、現在のカーライフに必須となっているカーナビの原形である。ここで用いられた、地図と自分の車の位置を紐付ける自車位置検知技術はカーナビのみならず、ITS、運転支援さらには自動運転まで広く活用されている。本製品と技術は、現在問題となっている環境・資源問題や予防・安全領域にも大きな貢献を果たし、社会的にも大きなインパクトを与えている。

(写真提供: 本田技研工業株式会社)



直接衛星放送サービス開始当時の受信機

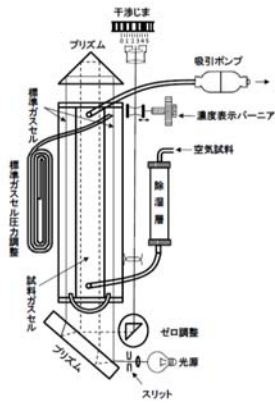
ちやくせつえいせいほうそう
直接衛星放送サービス

[カテゴリー] こと

[顕彰先] 日本放送協会 放送技術研究所

[顕彰理由] 1984年、日本において世界初となる直接衛星放送サービスが開始された。衛星放送は、低雑音受信機、搭載機器を含む放送衛星本体とその管制技術に関する長年に渡る研究開発と、12GHz帯の電波伝搬特性の調査研究によって実現された。一般家庭で直接受信することができる衛星放送は、山間部や離島などを含む全国の世帯でテレビ放送の受信を可能とした。現在では、1800万世帯以上(2013年12月時点)で受信されているBSデジタル放送へと発展しており、放送のみならず産業界へも大きな貢献を果たした。

(写真提供: 日本放送協会)



理研光干渉計式ガス検定器3型(左)と装置構造・測定原理(右)

ひかりかんしょうけいしきが すけんちき
光干渉計式ガス検知器

[カテゴリー] モノ

[顕彰先] 理研計器株式会社

[顕彰理由] 日本で最初に実用化された電池駆動の携帯型ガス検知器である。昭和初期、炭鉱におけるメタンガス爆発が頻発し、大きな社会問題となっていたことから、ガス爆発防止のための安全かつ簡便なガス検知が切望された。こうした背景の下、ガス混入による屈折率の微小変化を光干渉縞の移動量として読み取る本検知器が開発され、1935年にはじめて炭鉱で利用された。この開発によりガス爆発事故が減少し、石炭産業発展に多大な貢献をした。現在でも国内外の炭鉱を始めとして産業界で利用され保安に寄与している。

(写真提供：理研計器株式会社)



帆足竹治(左)と早稲田大学(右)

ほあしたけじ はっけん かいるもうけつごう ほうそく ほあし ミルマン ていり
帆足竹治の発見した回路網結合の法則「帆足-Millmanの定理」

[カテゴリー] こと/人

[顕彰先] 早稲田大学

[顕彰理由] 明治維新からわずか60年後の1927年、早稲田大学の帆足竹治は任意回路網の節点電圧を、連立方程式を解かず短時間に求める法則を発見し電気学会誌に報告した。一方、Millmanは13年後に同じ内容を定理として米国で発表した。当時、帆足の論文を知る東京工業大学の川上教授が今後は「帆足-Millmanの定理」と呼ぶことを提唱し、今日ではその呼称で多くの学生が学び、また各種書籍や国内外の特許にも引用され、電気工学の発展に大きく貢献している。

(写真提供：早稲田大学大学史資料センター)

(顕彰名称 50音順)

平成 27 年電気学会全国大会 特別講演・授与式のご案内

●特別講演・授与式（一般無料開放）

日 時：平成 27 年 3 月 25 日（水）14：00～17：45

会 場：東京都市大学 世田谷キャンパス 2 号館 1 階 21C 教室
（東京都世田谷区玉堤 1-28-1）※交通アクセス・キャンパスマップは東京都市大学ホームページ（<http://www.tcu.ac.jp/access/index.html>）でご覧いただけます。

式次第（案）：

13：30 開場

14：00～14：10 電気学会会長 挨拶 : 生駒昌夫氏

14：10～14：40 大韓電気学会会長講演「Smart Grid Progress in Korea」
: Hee Jun Kim 氏14：40～15：40 特別講演「スマートモビリティ実現に向けた
電気自動車の今と未来」
: 二見徹氏（日産自動車株式会社エキスパートリーダー）

15：40～15：50 休憩

15：50～16：50 特別講演「環境革命の時代」
: 湧井史郎氏（東京都市大学環境情報学部教授）**16：50～17：45 電気学会優秀論文発表賞および第 8 回「でんきの礎」授与式****17：45～17：50 受賞者と電気学会会長の記念写真撮影**■電気学会全国大会のホームページ（<http://www.iee.or.jp/taikai.html>）で逐次最新情報を公開しています。

以上